

進路・サポート・プログラム(SSP)個別版 I

	①自己理解	実施例	②職業研究	実施例
中1	自己理解Ⅰ ○中学と「私」(1学期) 中学生生活をいかに過ごすか。 ○世界を「みる」(2学期・3学期)	○中学生生活オリエンテーション(4月) 1 教務・生徒・特活などからの種々のオリエンテーション 2 SJ(中2や中3生からのメッセージ、5人程度) 3 上級生との座談会	職業学習Ⅰ ○社会を「みる」	○ワンデー・リサーチⅠ(7月) 《地理分野の産業と関連》 工場・事業所・中央卸売市場・造船所等見学
中2	自己理解Ⅱ ○社会と「私」 地域・社会の人々との対話	○職場体験や地域研究ツアーと関連 地域での清掃活動、赤い羽募金など。	職業学習Ⅱ ○社会を体験する	※職場体験 種々の職場・施設・「ボランティア」の場で社会を実体験する。 ※職場体験のプレゼンテーション
中3	自己理解Ⅲ ○世界と「私」 世界の人々との対話	○国際理解・異文化理解の諸活動と関連 海外留学・海外研修や留学生との交流 「世界と私」体験学習 ハワイ研修・オーストラリア研修 報告会	職業研究Ⅰ ○社会を知る 種々の職業を知る。	○職場インタビュー ○ワンデー・リサーチⅡ(3月) 《公民分野との関連》 裁判所・マスコミ・自由民権館等を見学し、研究する。
高1	自己理解Ⅳ ○自己の確認と適性の把握 家族と「私」 ○高校と「私」 高校をいかに生きるか。 ○社会といかに関わりたいか。	※オリエンテーション合宿(2泊3日) ○「自分探し」をいかにするか。 連続講座(大学教授・作家・臨床心理士・精神科医・卒業生等) ○自己を振り返る ○進路適性検査(10月) ○10年後の「私」、20年後の「私」 ○SJ(高2生からのメッセージ) ○「高校生のころ」インタビュー(家族以外の者対象)	職業研究Ⅱ ○社会を考える 職業観の育成 「働く」苦勞・やりがいを考える 種々の職業を考える。	○ワンデー・リサーチⅢ 世界にチャレンジする県内企業や四国企業をリサーチする。 ○ワンデー・キャリアセミナー(3学期) 10人の職業人によるセミナー。実施形態はワンデーセミナー方式。 ○職業志望理由書作成(2月) ○SJ(中3生へスピーチ)
高2		ビデオ・DVD利用 ①リベラル講座「仕事を語る」シリーズ ②NHK「平成若者仕事図鑑」シリーズ等	職業研究Ⅲ ○自己の志す職業を深く知る	
高3	自己理解Ⅴ ○大学と「私」 どのような大学生活を送るのか。 人生をいかに生きていくのか。 ○Best Leaderになるために	○リーダー論講座 複数の講師によるリーダー論		

仕事を語るシリーズ

職業人座談会

《備考》

○ワンデー・リサーチ(中1・中3・高1生対象) 企業訪問や体験学習を行うことで、社会の実態に触れさせ、進路学習にも活かす。	○「仕事を語る」シリーズ 保護者・卒業生・本校教職員・識者等によるスピーチ。講演の後、座談会も実施。	○ワンデー・キャリアセミナー(高1対象) 弁護士・公認会計士・建築士・アナウンサー・公務員・IT関連職業など種々の職業人を招き、ワンデーセミナー形式で実施。	○SJ 大学生から高3生へ、高2生から高1生へ、高1生から中3生へというふうに、上級生による下級生へのスピーチ。座談会も実施。
○職業人座談会 弁護士・公認会計士等、主に本校卒業生と生徒との座談会。随時実施。			

※印は、検討中の事項。